

星空 だより

普及版
2025年12月

がいけつ!
ぎもん・てんもん

小学4・6年生が理科で習う内容を
中心に、毎月わかりやすく星のお
話をします。楽しくすべて学校の
授業にもとても役に立ちます!

今日は…21日(日)15:30

「冬の星座を探そう!オリオン座を観察しよう!」(小4)

プラネタリウムで星図を使って冬の
星座を探そう!オリオン座がどう動
くか冬休みに観察してみよう!



一般投映

今夜の星空+テーマ番組「ゼロから始める宇宙農業」

アルテミス計画では月面基地を足がかりに火星を目指しますが、大きな問
題の一つが食料確保。遠すぎて地球から持って行けないなら宇宙で作らな
きゃ…宇宙農業、ここから始めましょう。イチから—いいえ、ゼロから!

こども投映 土曜11:00 今夜の星空+こども番組「クリスマスのおほしさま」

12月 投映日						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	12/28(日)~令和8年1/4(日) は年末年始休館です			

●…16:30~ 一般投映
●…11:00~ こども投映, 13:30~ 一般投映, 15:30~ 一般投映
●…11:00~ 一般投映, 13:30~ 一般投映, 15:30~ 一般投映
●…11:00~ 一般投映, 13:30~ 一般投映, 15:30~ かいけつ!
●…11:00~ 全天周投映, 13:30~ 全天周投映, 15:30~ 全天周投映
●…11:00~ こども投映, 13:30~ 全天周投映, 15:30~ 全天周投映

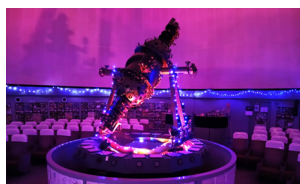
※予定変更が生じる場合があります。
最新情報はホームページ、
X(旧ツイッター)等を
ご確認ください(右QRコード)。



イベントの予定

クリスマス・イルミネーション&撮影スポット

12月25日(木)まで プラネタリウムロビーとドーム内
にイルミネーションが飾られるよ。クリスマスツリー
星団をバックにこたつで記念撮影コーナーも登場!



冬休み特別投映 全天周プラネタリウム『Mitaka! 宇宙の旅』

12月25日(木)、1月5日(月)・7日(水) ①11:00~ ②13:30~ ③15:30~

12月27日(土) ①13:30~ ②15:30~ ※12月27日(土)11:00~はこども向け投映

国立天文台開発の「Mitaka」で宇宙空間を旅しよう!

天体観望会 1月24日(土)18:00~19:30

(18:30まではプラネタリウムでの事前学習)

観察する星…月、土星、木星、すばる、オリオン大星雲など(予定)

定員…136名(先着順) 参加費…無料

申込…会館事務室に電話か直接(受付開始12/24~)

※中学生以下保護者同伴 ※天候不良の場合プラネタリウム投映のみ実施

※当日は17:30~17:50にプラネタリウム前集合(受付が出ています)



1月の投映内容(予定)

今夜の星空+テーマ番組

「星空カレンダー 2026」

土曜11:00 今夜の星空+
こども番組「オリオンとアルテミス」

18日(日)15:30

かいけつ! ぎもん・てんもん

「星はなぜ動く?」
(小4)



観覧料

大人(高校生~) 300円

子ども(3歳~中学生) 100円

団体(20名以上) 大人250円、子ども80円

障がい者個人と介護者1名 50%割引

※要当該手帳提示

※「フレンズ」会員の方はご本人様のみ無料

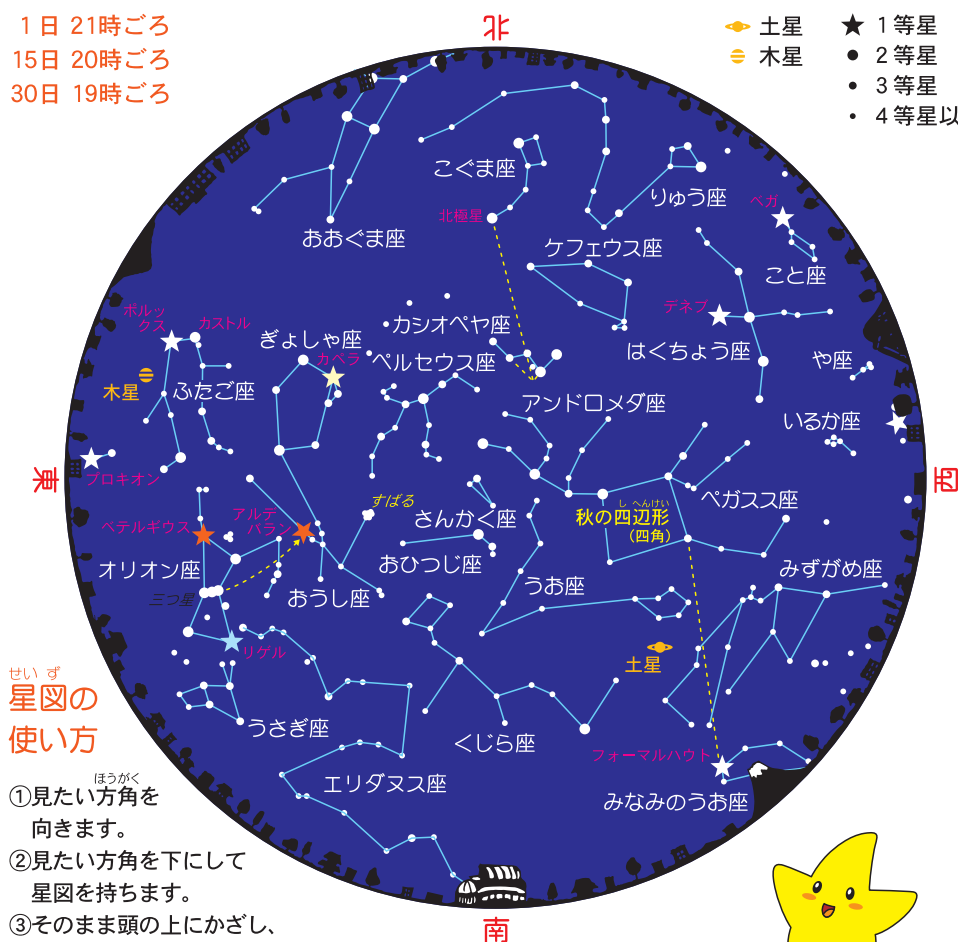
久喜総合文化会館

〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140

TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488

12月の星空

1日 21時ごろ
15日 20時ごろ
30日 19時ごろ



星図の使い方

- ①見たい方向を向きます。
- ②見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

2026年1月1日、久喜の
初日の出は6:51だよ！

生やせ!! 宇宙野菜

宇宙農業の最初期は、そもそも宇宙で植物を栽培できるか？というゼロからのスタートでした。宇宙環境が植物に与える影響を調べる段階で、食べるには至りませんでした。

2014年、国際宇宙ステーションにNASA開発の野菜栽培装置「VEGGIE」が運ばれ、宇宙で育てた野菜を宇宙で食べる段階に入りました。2015年、油井亀美也宇宙飛行士はVEGGIEで育てたレタスを初めて試食しました。さらに2017年、より自動化されたNASAの新型野菜栽培装置「Advanced Plant Habitat (表紙)」も打ち上げられました。これら栽培装置は管理された機械内で水耕栽培に近い形で作物を育てるもので、言わば野菜工場。その技術は地上での工場栽培にも還元できます。では、地球以外の星の土壌で野菜を育てることはできるのでしょうか？

2022年、アポロ11・12・17号が地球に持ち帰ったレゴリス(月の砂)と、月の砂に似せた人工砂でシロイヌナズナを育てる実験が行われました。結果は…それぞれの砂で種は芽を出し成長したのです。しかし人工砂では順調に成長したのに対し、月のレゴリスでは根が伸びず、葉色も悪く、遺伝子を調べると強いストレスを受けていることがわかりました。特に11号のレゴリスは成長が悪く、同じ月でも場所により農業に向き不向きがあるようです。

月の土壌は植物にとって理想的とは言い難いですが、植物との組み合わせを研究してゆけば全く使えないわけではありません。地球から大量の土を運ぶことは難しいため今後の研究に期待したい所です。遠い将来は、火星の土で農作物を育てられる時代がやってくるかもしれませんね。

惑星

南西土星…1等級。11/25に環が地球から見てほぼ真横を向いたばかりなので望遠鏡では環はとても細く見える。
東木星…3等級。年明け1/10に衝。

主な1等星

北西デネブ[はくちょう座]…もう低い。
南西フォーマルハート[みなみのうお座]…相当低く見つけにくい。
東カペラ[ぎょしゃ座]…高く明るく目立つ。
東アルデバラン[おうし座]…赤っぽい色。
東ベテルギウス[オリオン座]…オリオン座の三つ星と共に目立つ。赤っぽい色。
東リゲル[オリオン座]…ベテルギウスから三つ星を挟んで反対側。青白い。
東プロキオン[こいぬ座]…まだ昇りたて。
東ポルクス[ふたご座]…ふたごの弟の星だが、兄の星カストルより明るい。

日の出

12月1日	6:33
15日	6:44
22日	6:48
30日	6:51

日の入

12月1日	16:28
15日	16:29
22日	16:32
30日	16:37

こよみ

12月5日	● 満月
7日	月と木星が接近(宵の東~8日明け方西の空)大雪
12日	● 下弦
14~15日	ふたご座流星群
20日	● 新月
22日	● 冬至
27日	月と土星が接近(夕方南~宵の西の空)
28日	● 上弦
31日	大晦日